



## 1月 ちょっと一言

喜びと平和をもたらすために

主任司祭 鶴飼好一

主のご降誕と新年おめでとうございます。今年もどうぞよろしく。  
教会とわたしたち一人ひとりにとって、新しい一年が主の恵みと祝福に満ちたものとなりますように。

いよいよ新しい年、2019年を迎えます。ご降誕祭を祝い、新年を迎えて新たな出発です。

教会はいつも同じではありません。良い意味でも悪い意味でも常に変化しています。毎年同じことの繰り返しのように見えても、実際は常に変わっていきま  
す。もちろん、わたしたちは皆、「交わりとしての教会」を目指して、更に主の御心に適う共同体として、よりよくなるようにと願っています。またそのために力を注いでいきたいと思ひます。

わたしたちはいつも主の御心に適った神の民にふさわしい共同体になるように、主における兄弟姉妹として一緒に歩んでいきたいと思ひます。

わたしたちの歩みは、信仰・希望・愛という対神徳の土台の上であり、イエスさまの愛の教えに根差しています。新しい年も、神さまの恵みに支えられこの信仰・希望・愛の内にそれぞれが成長し、教会の使命をよりよく果たすことができるように願ひます。イエスさまに結ばれて、聖霊の働きによって、わたしたち一人ひとりがイエス様のようになるように神の恵みに信頼して歩みましよう。

福音宣教によって、イエスさまによってもたらされた救いの恵みを述べ伝え、また、神の愛を証しするものとなりましよう。福音宣教によって、愛と平和に満ちた世界を築くことができますように。自分の内に常に「愛と平和と喜び」があり、神の恵みを伝えることができれば幸いです。神の愛を知り、喜びと平和をもたらすためにわたしたちはイエスさまからこの世に遣わされています。これは人間の業ではなく、神の業です。

わたしは、典礼聖歌の「いつも喜んでいなさい」という歌が好きです。思い出深い歌でもあります、その言葉は信仰生活の要を示して下さっています。新しい年も、しっかりと信仰のうちに歩いていけますように、神の恵みと祝福を願ひます。

